

登録コード	TOH08900	開講年度	2026				
授業科目	博物館情報・メディア論(16T以降)					担当教員	小山 茂喜 他
英文授業名	Museum Information and Media					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	共通教育 4 3 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 5 Tカリ, 2 3 Tカリ						
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	学芸員として必要な情報、メディア、文化等に関する広く深い考え方と教養を身につける。	
	2 6 Tカリ						
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	学芸員として必要な情報、メディア、文化等に関する広く深い考え方と教養を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	具体的な事象を通して、ICT社会の中の博物館における情報資源の活用や役割ならびに博物館活動の情報化について学ぶとともに、博物館における知的財産にかかわる内容についても学ぶ。						
(5)授業計画	第1回 メディアとしての博物館 第2回 博物館展示における情報とメディア 第3回 博物館におけるメディアリテラシー 第4回 資料のドキュメンテーションとデジタルアーカイブス 第5回 博物館と著作権等 第6回 博物館におけるユニバーサルデザイン 第7回 研究と博物館情報・メディア 第8回 映像とメディア 第9回 歴史系博物館における情報・メディア 第10回 科学系博物館における情報・メディア 第11回 博物館による伝承 第12回 博物館教育の多様な機会と情報・メディア 第13回 学校・図書館・研究機関との連携 第14回 博物館メディアの役割と学習活用 第15回 博物館情報の発信・授業のふりかえり						
(6)成績評価の方法	授業の中で課す課題レポート 5 割、授業後の課題レポート 2 割、授業の中での活動参加度等 3 割で、総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	評価の規準（おおむね達成すべきレベル） ・博物館における情報管理について理解し、適切に処理する能力を身につけた。 ・デジタル情報の特性を理解し、デジタルコンテンツを作成することができる。 ・学校教育での博物館活用のあり方について理解し、教材開発等ができる。 基準 ○到達度が十分満足できレベルで特に程度が高い場合…かなり上にある ○到達度が十分満足できるレベル…やや上にある ○おおむね達成された…規準値 ○努力を要すると判断されるもの						
(8)事前事後学習の内容	事前に配布する資料を読み、内容を把握する。 授業内で課すデジタルコンテンツを作成する。 博物館活用のためのテキストを作成する。						
(9)履修上の注意	学芸員資格取得希望者は必ず受講すること。 授業は、前半を夏季休業中に松本キャンパスで、後半を 2 月に松本キャンパスと県立歴史館で行う予定。						
(10)質問,相談への対応	授業前後、並びに随時受け付けます。 メールでの問い合わせは、小山まで。 shigeki@shinshu-u.ac.jp						
(11)その他							
【教科書】	特に指定しない						
【参考書】	「博物館情報・メディア論〔新訂〕」 鶴見 英成・ 近藤 智嗣, 放送大学教育振興会, 3740円						